



「先生と子どもたちの関係」

栗東市教育委員会 教育長 福原 快俊

皆さん、おかわりなくお過ごしでしょうか。

こんな挨拶で始めるのは、もちろん新型コロナウイルス感染防止のため、3月から学校園が臨時休業になり、すでに三ヶ月が過ぎたからです。学校園で子どもたちが勉強し、遊び、様々な関係を結んでいくというあたりまえのことができない状態が続いてきましたが、この文章を読んでもいただく頃には、子どもたちが毎日学校園に来て、元気な声で挨拶して、教室で静かに学び、時に大きな声で発表し、校庭で楽しそうに走り回る、あたりまえの姿が見られるようになっていくことを信じています。

さらに、この厳しい3ヶ月間、子どもたちの命を守ることを最優先にしながら、乳幼児保育に携わっていただきました保育園の先生方に心から敬意を表します。

また、毎日学校園に子どもたちが来るという、これまであたりまえと思っていたことが、いかに貴重なものであったか、日常が途切れて、初めてその意味を痛感するところです。

さて、今回の学校園再開にあたって、私たちがあたりまえであると思っている「保育士、教員は幼児・児童・生徒に教えるのが仕事である」ということについて考えてみたいと思います。

「保育士」「教員」は「幼児・児童・生徒」に「教える」のが仕事ですが、その子ども「幼児・児童・生徒」が目の前にいなかったらどうでしょうか？十全な意味での「指導者」に私たちはなれません。家庭で「子ども」がいなければ「お父さん」「お母さん」はあり得ないのと同じく、片方がなければ成り立たない関係です。（仏教ではこれを「相依相対（そうえそうたい）」といいます。）

内田樹さんは『先生はえらい』という本の中でこんなことをいっています。

「話し手が、聴き手のことを無視して、自分の思うことを滔々（とうとう）と話すのを聞いていると、聴き手はだんだんイライラしてきて、話を理解するどころか、腹をたてて早く終わってほしいと思ったり、席を立ったりすることがある。」経験ありますよね。け

れど、これは当然のことで、話し手が聴き手を見捨てて話し続けることで、聴き手はたいへん傷つくのです。それは話し手が、聴き手の存在を見捨てるからで、いいかえると「あなたはいなくてもよい」というメッセージを送り続けることになるからだ、と内田さんは言います。

教室で、先生が自分の知っている知識を話すのを、子どもたちが聴いて身につけるのが、教室での授業の基本的スタイルであると私たちは考えています。けれど、それは話し手と聴き手の両方が、相手のことを認めあい、尊重し合う関係を大事にするという前提があってこそ成り立つのであって、話し手である先生が（聴き手である子どもたちの関心を無視して）自分の知っていることを話し続ける（＝子どもたちを見捨て続ける）ことは「君たちはここにいないでもいいよ」というメッセージを送り続けることになる、そのことは容易に理解してもらえましょう。

この休業中に話題になったインターネットでの授業について弱点があるとすると、まさにこの話し手と聴き手の関係づくりができていないと、大変危険なものになる可能性があるという部分であろうと思います。

逆に、良い授業を考えるならば、この話し手と聴き手（先生と子ども）の関係がしっかりしていれば、話の中身は、話し手（先生）の思っている以上に

聴き手（子ども）が受け取る可能性があるのです。

大人になった私たちが昔、小中高の授業中に教科の中身はあまり覚えていなくても、先生の雑談や身の上話など、どうしてもいい話を覚えているのは、この関係ができあがっていたからではないでしょうか。

話をもどして、私たちがよい保育・授業をしようと思うならば、教材や指導計画の重要性もさることながら、話し手である私たちが、聴き手である子どもたちのことを常に大切に思っ

て話しているか、そしてその話を子どもたちはどう受けとめるだろうか、どう受けとめているだろうか、どう受けとめただろうかをリアルタイムで感じ取る（フィードバックを受ける）ことが必要であると思います。

このことは、「君たちはここにいないんだよ」というメッセージを送り続けることであり、「ぼくらは、ここで学んでいるんだ」という喜びを共有することでもあります。

私たちはプロフェッショナルです。子どもたちを前にしたとき、伝えたいことを一番うまく伝えられるプロ、いいかえると話し手と聴き手の秘密を知り尽くしたプロでなくてはならないのです。

学校園再開後に、本当のプロが益々活躍してくれることを期待しています。

2020/05/28

各 校 園 の 研 究 主 題

校 園 名	研 究 主 題	
金 勝 第 1 幼 児 園	「自分の思いを伝えあい、心を通わせる子どもを目指して」 ～ふれあい遊びを通して～	
金 勝 第 2 保 育 園	「わくわくドキドキ心を動かし、夢中になって遊びこむ子どもの育成」 ～子どもが主体的に遊びを創りだす環境のありかた～	
葉 山 幼 児 園	「こころのねっこを育てよう」 ～笑顔いっぱい、元気いっぱい、動かそう心と体～	
葉 山 東 幼 児 園	「主体的な保育って？」 ～環境構成を通して～	
治 田 保 育 園	「感性を豊かにし、いきいきと表現できる子どもの育成」 ～子どもが夢中になってあそぶことのできる環境とその援助・心を動かす出来事との出会いを考える～	
治 田 幼 稚 園	「のびのびと身体を動かし自分なりに挑戦しようとする子どもの育成をめざして」 ～身体づくりを通して～	
治 田 東 幼 児 園	「『やってみよう』の心を育む」 ～環境を通して～	
治 田 西 幼 児 園	「しなやかな心と体を育み、主体的に遊ぶ子どもの育成」 ～健康な身体づくりをめざした環境のあり方について～	
大 宝 幼 稚 園	「心はずませ、いきいきとあそぶ子どもの育成をめざして」 ～すすんで体を動かしたくなる環境や援助の工夫～	
大宝幼稚園分園	「自ら意欲的に遊ぶ子どもをめざして」 ～心が動き、体が動く環境とは～	
大 宝 西 保 育 園	「心動かし いきいきと遊ぶ 大西っ子を目指して」 ～自ら学び考える力を育てる保育の在り方を探る～	
大 宝 西 幼 稚 園	「心動かし いきいきと遊ぶ 大西っ子を目指して」 ～自ら学び考える力を育てる保育のあり方を探る～	
金 勝 小 学 校	「自分の思いをもち、伝え合うことで深い学びができる子どもをめざして 2/3」 ～課題解決につながる対話を取り入れた授業の工夫～	国語科
葉 山 小 学 校	「自分の思いや考えをもち、考えを更新することができる子どもの育成」 ～国語科における「叙述にこだわった読み」に着目して～	国語科
葉 山 東 小 学 校	「夢を描き 仲間と語り合い 自己を高める子どもの育成」 ～学級活動を軸に、子どもの「やってみたい」の実現を図る～	国語科
治 田 小 学 校	「自尊感情が高まる『できる』『わかる』授業づくり」 ～『土台』となる学習集団づくりを通して～	学級活動
治 田 東 小 学 校	「自信をもって自ら学ぶ子どもの育成」 ～自ら問いをもち、よく読み、考えを深める「読み」の指導を通して～	全教科
治 田 西 小 学 校	「どの子も自分の考えをもち、学びを深める授業づくり」 ～言葉を大切にしながら読み、自分の考えをもち、学びを深める「読み」の指導を通して～	国語科
大 宝 小 学 校	「考え続ける子どもの育成」 ～学びを「デザイン」することを通して得られる「見方や考え方の深まり」の追究～	国語科
大 宝 東 小 学 校	「目的意識をもって学びに向かう子どもの育成」 ～子どもの「自分から学びたい」を引き出す授業づくり～	全教科
大 宝 西 小 学 校	「心動かし いきいきと学ぶ 大西っ子を目指して」 ～自ら学び考える力を育てる授業のあり方を探る～	全教科
栗 東 中 学 校	「将来の生き方を拓く特別活動の在り方」	全教科
葉 山 中 学 校	「授業改善と仲間づくりに重点をおいた『学ぶ力』の向上」 ～授業改善と学年・学級経営に「学び合い学習」の取組を取り入れること で、生徒の「学ぶ力」の向上を図る～	特別活動
栗 東 西 中 学 校	「ICTを活用した授業づくりを通して『読み解く力』をより効果的に高める実践」 ～初任者研修・OJT・ICT活用授業づくりプロジェクト研究とのタイアップ～	全教科 全領域



教育研究所 運営委員の紹介！

市内の園長会、校長会、主任会、教務主任会の各代表の先生方に運営委員をお願いし、教育研究所の運営を展開していきます。運営委員の先生方をご紹介します。

園長会代表	大宝幼稚園	園長	中島浩子
校長会代表	大宝西小学校	校長	中島久之
主任会代表	治田幼稚園	主任	稲富千晶
教務主任会代表	金勝小学校	教諭	平沢佐知子
教務主任会代表	大宝西小学校	教諭	高田祐子
教務主任会代表	栗東西中学校	教諭	澤居則晶

◆新型コロナウイルス感染症・感染拡大防止により、長期にわたる臨時休業を実施せざるをえなくなり、教育に携わる私たち誰もが、かつて経験したことのない令和２年度のスタートとなりました。まだまだ油断はできませんが、ゆっくりと平常を取り戻しつつあります。研究所では、残念ながら今年度に関し「研究奨励事業」「夏期研修講座」の実施、開催を中止いたしました。特に「研修講座」については現場のニーズに応えられるよう講師の先生方にもお願いしていただけに大変残念です。そこで、各校園で研修を計画された際に研究所でもお手伝いできないか、と考えています。詳細は校園長会等でお知らせいたしましたのでどうぞよろしくお願いします。

教育研究所 所員の紹介！！

所長	西條 義信		
★研修・研究係長	高野 崇	研修・研究係長	中川 謙二
研修主事	森 聡	研修主事	五藤 章
研修主事	吉川 寛	研修主事	井上 真澄
研修主事	稗田 将	研修主事	池田 美香
研究員	穴堀 春香		
★庶務係	宇野 栄子		
★学習支援員	塩見 千鶴	豊田 有希	



〒520-3088 栗東市安養寺一丁目 13-33
栗東市教育委員会事務局内
TEL 077-551-0130 ・ FAX 077-551-0149
E-mail kenkyusho@city.ritto.lg.jp